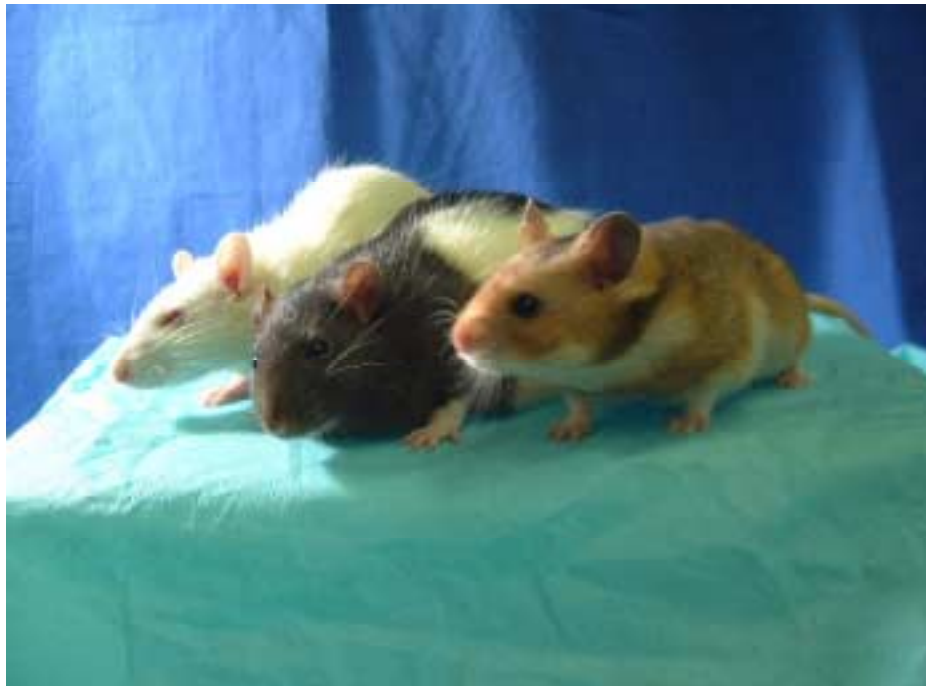


2003実験動物データ集



注意：2003年データ集に関して著作権は日本エスエルシー(株)が所有していますので、営業行為及び利益目的で配信、複製等の行為は行なわないで下さい。

但し、会社、学内、研究所内の配信、論文投稿等の引用については、日本エスエルシー(株)にお問い合わせ及び確認を取って下さい。

 **SLC**
日本エスエルシー株式会社

Japn SLC, Inc.

お問い合わせ先	営業部	関東エリア	TEL:053-486-3155
		関西エリア	TEL:053-486-3157
		九州エリア	TEL:0942-41-1656
			FAX:053-486-3156

条件一覧

血液学的検査および血液化学的検査は、特に記載がない限り以下の条件で実施した。

血液学的検査

絶食) 約16時間

麻酔) エーテル

採血部位) 腹大動脈(ラット)、後大静脈(マウス)

検体) 血液(アングロット/ET;日本商事 添加):血液検査

血漿(3.8%クエン酸ナトリウム添加):凝固系検査

測定機器) Coulter Counter T-660 :血液検査

Coagulometer KC-40 :凝固系検査

略語) MCV:Mean corpuscular volume

MCH:Mean corpuscular hemoglobin

MCHC:Mean corpuscular hemoglobin concentration

PT:Prothrombin time

APTT:Activated partial thromboplastin time

血液化学的検査

絶食) 約16時間

麻酔) エーテル

採血部位) 腹大動脈(ラット)、後大静脈(マウス)

検体) 血清(-80°C保存)

測定機器) 日立-736/10型オートアナライザー、FLAME PHOTOMETER FLAME-30C、

CHLOR METER C-200AP

測定方法) Total protein :Biuret法

Albumin :BCG法

A/G :ALB/(TP-ALB)

GOT(AST) :リンゴ酸脱水素酵素共役法

GPT(ALT) :乳酸脱水素酵素共役法

Alkaline phosphatase :p-NPP法

Glucose :ヘキソキナーゼ法

Total cholesterol :CE-COD-POD法

Triglyceride :LPL-GK-GPO-POD法

Phospholipid :PLD-CHD-POD法

Total bilirubin :Diazo法

Blood ureanitrogen :Urease-GLDH法

Creatinine :Jaffé法

Inorganic phosphorus :Fiske-Subbarow法

Calcium :OCPC法

Sodium :炎光光度法

Pottasium :炎光光度法

Chloride :電量滴定法

Non esterified fatty acid :ACS-ACOD-SCEP法

関節炎誘発モデルラット

DA/SIc

DA/SIc

由来

DAラットの呼称は、その毛色、Dark Agoutiに由来するが、系統の起源は明らかではない。
当社では本ラットを1984年に熊本大学から当社に導入し、以後生産・供給を行っている。



毛色

ダーク アグーチ色

遺伝的プロファイル

RT1.A : a

特徴・用途

- ・アジュバンド関節炎モデル
- ・コラーゲン関節炎モデル
- ・アレルギー性脳脊髄炎モデル

コラーゲン関節炎誘発試験

使用動物

系統: DA/SIc ラット
性別: 雌
感作匹数: 19匹 (発症例数19)
感作週齢: 9週齢
固形飼料: ラボMRストック(日本農産工業)

エマルジョン

- 1) 抗原液
 - ① 抗原: ウシコラーゲン II 型
 - ② 溶媒: 0.1% 酢酸液①を②にて2mg/mLに調製
- 2) アジュバンド
FIA

1)、2)を等量で合わせ1mg/mLのエマルジョンを作製

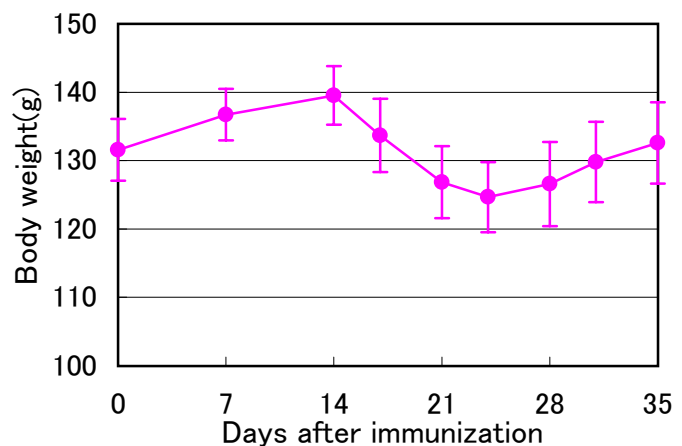
投与

背部皮内に0.05mLずつ4ヶ所に(合計コラーゲン量として0.2mg/animal)投与

関節炎発症率(各データは左右後肢の平均値を集計)

感作後2週に74%、3週で100%

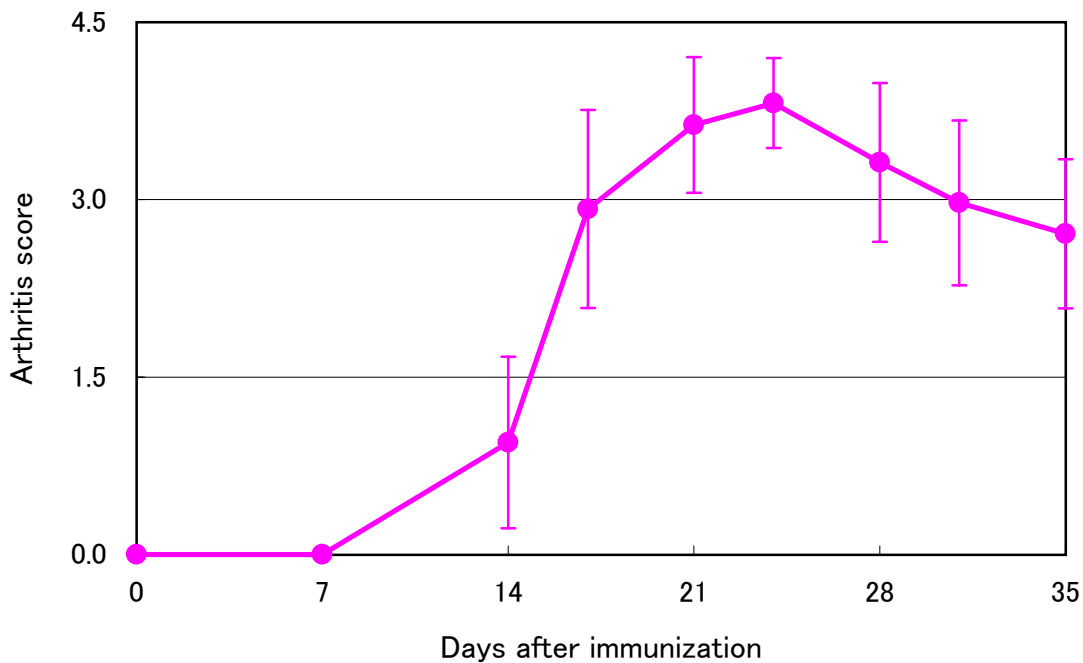
体重(感作後)



関節炎誘発モデルラット

DA/Slc

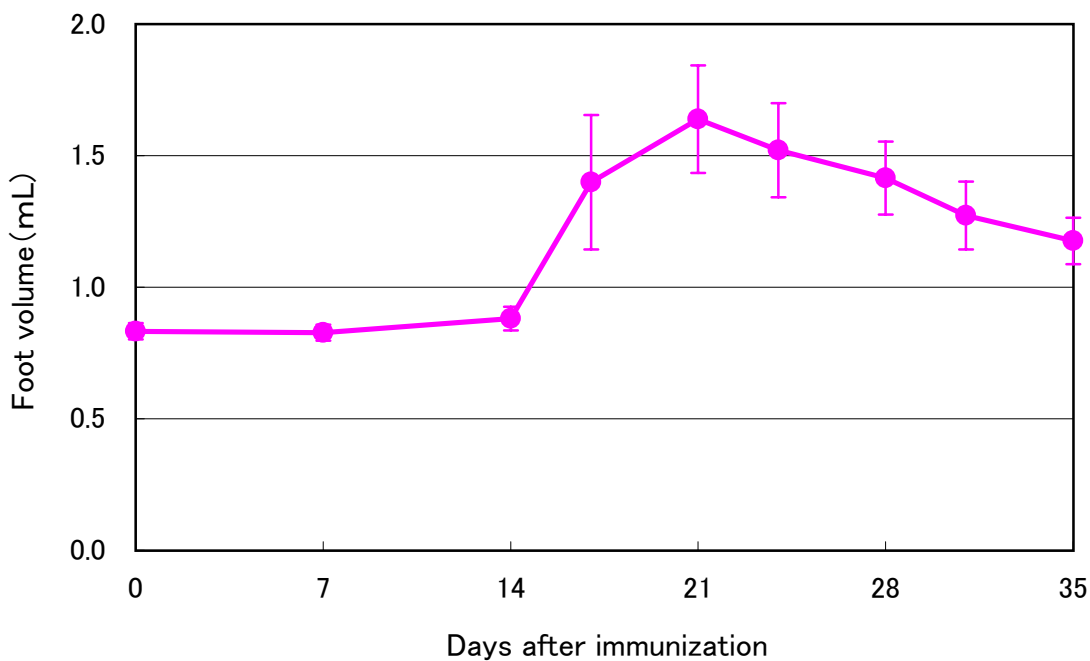
関節炎指数



<関節炎発症の基準>

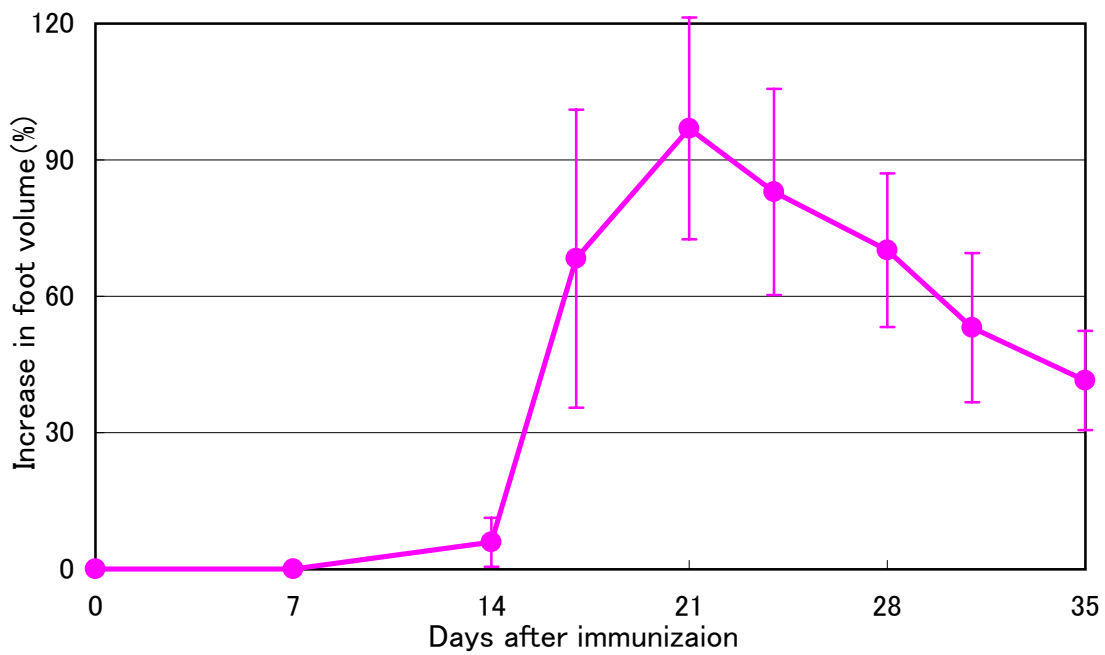
4段階の評点化 (0;変化なし 1;足指の腫脹 2;足指および足裏の腫脹 3;足全体の腫脹 4;重度の腫脹) を行い、骨変性がみられた場合+1を加算して評価し、スコア1以上を関節炎発症とした。

後肢容積



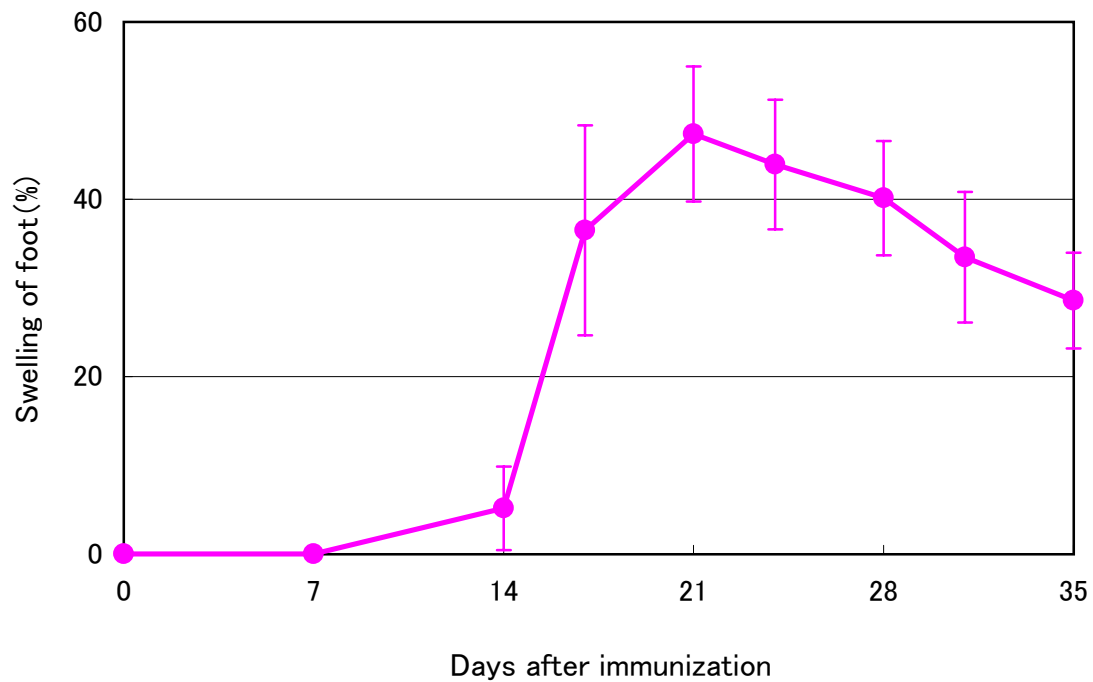
測定機器：デジタルボリュームメーター (MK-500、室町機械)

後肢容積増加率



後肢容積増加率
(処置後の後肢容積 - 処置前の後肢容積) / 処置前の後肢容積 × 100

後肢浮腫率



浮腫率
(処置後の後肢容積 - 処置前の後肢容積) / 処置後の後肢容積 × 100